

(対象事業：1. 地域の中核館として他館や他機関等と連携して行なう事業)

事業名：しまねのミュージアム活用
ガイドブック作成事業

事業者名：しまねミュージアム協議会

連携事業館名：しまねミュージアム協議会加盟館
77館

住所：〒690-0034 松江市大庭町456

TEL：0852-23-2485

FAX：0852-23-2429

HPアドレス：www.v-museum.pref.shimane.jp

①施設概要

島根県下の博物館、美術館、資料館等78施設(展示館は77館)で構成するしまねミュージアム協議会。旧島根県歴史民俗資料館等連絡協議会が発展的に解消し、分野を越えたミュージアム協議会として発足して、4年を経過。事務局は、島根県立八雲立つ風土記の丘。

②事業の意図目的

平成15年度の本事業で、「しまねのミュージアム」マップを作成したが、このマップは加盟館の所在地や連絡先等を知るための基礎データの紹介であった。

今年度は、このマップをベースに各館を有効に利用してもらうために、展示活動や総合学習及び体験学習活動の内容を紹介したガイドブックを作成し、県内の小中学生を対象の中心にして、その冊子を配布しようとするものです。

③事業概要

従来のガイドブックの発想から逆転して、各展示施設の所蔵品から1点にスポットをあて、その資料(作品)に関係した設問から資料(作品)に関心を深めてもらうように工夫する。その設問の解答は冊子の後半にあり、その欄に館名等基礎データが掲載されている。

冊子に掲載されているデータの他に、総合学習や体験学習にどのように対応できるかの案内、あるいは学芸員からの一言などは、しまねミュージアム協議会のHPに掲載し、冊子のデータを補完できるように工夫した。

冊子の配布は、県内の小中学校の各クラス1冊、校長、教頭、学校図書館各1冊、加盟館各3冊。そして、関係の機関への配布として400部を印刷。

製本の体裁として綴じはリング形式にし、先生が児童生徒の前で完全に折り畳んで説明できるように配慮した。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他(ガイドブック、)

作成した報告書等

ビデオ ()

冊子 (しまねのミュージアム探検隊 77の謎に挑戦)

その他 ()

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 人

内 訳

(1) 事業の実施状況について

冊子の内容についての反応はすこぶる上々で、これまでのガイドブックの概念をくつがえしたと、好評を得ている(右上写真)。

ただ、目につくミスとして、市町村合併に伴っての町名や館名などのチェックが十分でなかった事などがあげられる。

(2) 地域との連携について

各館の受付等に配置してもらっているが、作品と設問への興味は尽きないようである。

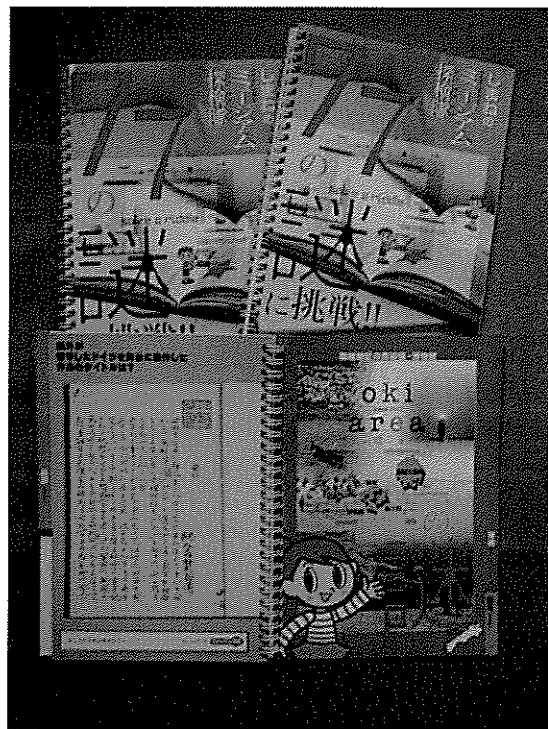
地域にある加盟館だけでなく、周辺地区の展示施設にも作品をとおして関心を向ける方もあり、狭い地域に限らないで加盟館に目を向けてもらえるステップになった。

(3) 成果物について

冊子がリング式の綴じ方であることや表紙のデザインについては、概ね好評である。

また、1頁1作品での紹介方法は、設問や作品に集中できるということで楽しく、次頁に興味をわくようである(右下写真)。

冊子の内容を地域割りにして、その地域を見やすくするインデックスは、役立った。



(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

昨年度のミュージアムマップ、今年度のミュージアムガイドブックと年を追って内容がステップアップし、その成果が県下の小中学生に目に見えるように配布されたことの意義は大きい。また、冊子だけでなくインターネット上でもデータが公開されそれを見ながら見学内容を考えるようなことも、今回の事業で実現したことであり、この事業から受けた恩恵は大である。

